

平成 31 年 3 月 20 日

## 報 告 書

新潟市西区自治協議会  
会長 岩 脇 正 之 様

西区自治協議会委員 大 谷 一 男

平成 31 年 3 月 19 日(火)、新潟市役所において開催された新潟市防災会議に出席したので、その概要を下記により報告します。

## 記

議事に先だち中原八一新潟市長から「西日本豪雨や北海道胆振東部地震など、近年大規模災害が発生している。災害はいつやってくるか分からない。安心安全への対応を強固にして行きたい。」旨の開会挨拶があり、引き続き、新潟市長が議長となって議事を進めました。

## &lt;議題&gt;

## (1)平成 30 年度「新潟市地域防災計画」修正案について

危機管理防災局防災課から、160項目に亘って新潟市地域防災計画の修正を行った旨の報告がありました。なお、主な修正内容について以下の説明がありました。

## ①新たな浸水想定に基づく全避難所の再評価

- ・洪水についての浸水想定  
「約70～150年に1度の大雨時の浸水想定」から  
「約1000年に1度の大雨時の浸水想定」に修正
- ・津波について  
「県独自の断層モデルでの想定」から  
「国が指定した断層モデルを加えた想定」に修正、且つ、基準水位(せり上がり浸水深)を公表
- ・評価の見直し(松浜小学校の例)  
修正前：全階可(浸水なし)  
修正後：2階以上可(1階部浸水)

## ②ブロック塀等倒壊防止対策

- ・市施設および通学路等におけるブロック塀等の緊急点検  
市立学校37施設 ⇒ 撤去・改修36施設  
学校を除く市施設90施設 ⇒ 撤去・改修27施設
- ・民間施設の安全対策  
民家等の倒壊危険のあるブロック塀 ⇒ 工事費用の一部を補助  
私立保育園・認定こども園 ⇒ 工事費用の一部を補助

③災害時保健医療業務の受援体制の整備

「救急救助・医療救護応急計画」および「防疫及び保健衛生計画」に災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の応援派遣についてを追記する。

④災害援護資金貸付利率等の改正

法改正に伴い新潟市災害弔慰金の支給等に関する条例及び規則の一部改正

- ・改正前：年利3%
- ・改正後：保証人を立てる場合 無利子 保証人を立てない場合 1%

<報告>

(1)平成30年度 新潟市の防災対策の取組について

危機管理防災局防災課から、主な取組内容の以下の報告がありました。

①被災地支援について

平成30年度にあつては広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画に基づくブロック別幹事市として全国の総括幹事市となったこと。平成30年度の被災地支援は以下のとおり。

- ・西日本豪雨 延べ54日間 延べ人数1355人
  - ・北海道肝振東部地震 延べ6日間 延べ人数22人
- 他に建物被害認定調査延べ38人

②除雪体制の強化について

- ・除雪車運行管理システム(ICT)の導入 ⇒ インターネット上で稼働状況を把握し、且つ、除排雪作業の効率化を図ることができたこと。
- ・新たな雪捨て場等の確保 ⇒ 河川敷、調整池、駐車場などの雪捨て場および地域の公園や遊休地などの小規模雪置き場を積極的に確保

③総合ハザードマップの作成・全戸配布について

- ・別々に作成してきた洪水、津波、土砂災害、浸水、ため池の災害想定を1つの冊子にとりまとめたこと。
- ・市内56中学校区ごとに作成するとともに災害の性質や特性・脅威を再確認いただく学習ページを掲載したこと。

④防災機能を有する公園の整備について

東区に災害時など広域避難所として活用できる公園(東区寺山地内)を整備したこと。

⑤国土強靱化地域計画の進捗状況について

- ・新潟中央環状道路の整備 ⇒ 江南区横越～曙町1.0kmを部分供用開始
- ・緊急輸送道路上の橋梁耐震化率(落橋防止対策) ⇒ 目標の100%を達成
- ・上下水道施設の耐震管入れ替え ⇒ 水道管20.4km 下水道管0.4km

(2)平成30年度 関係機関の防災対策の取組について

①新潟地方気象台

30.12.26 伝え方検討会報告書の概要報告がありました。

豪雨災害において、防災気象情報の発表や自治体からの避難呼びかけが、必ずしも住民の避難行動に繋がっていない、との指摘にもとづいて、気象情報

の一層の理解促進と気象防災アドバイザーの一層の活用、気象防災ワークショップの一層の促進、地域防災リーダーの育成支援、土砂災害の危険度分布の高解像度化、危険度分布やハザードマップ等の一覧性の改善、各市町村との窓口の強化など

②国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所

河道掘削、堤防整備、河川防災ステーション整備についての報告がありました。

③国土交通省北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

同上

④東北電力株式会社 新潟営業所

北海道胆振東部地震による大停電は、本州からの緊急応援にも関わらず需要と供給のバランスを確保できずに起きた旨の報告がありました。新潟支社の応援概要は以下のとおり。

- ・地震発生当日、フェリーにて小樽へ移動。小樽から北見まで約360km陸路を移動。遠野町の老人ホーム2箇所を電源車により供給。第1陣～第4陣延べ105人。

<その他>

自治協議会委員は任期満了で、委員改選となる旨の説明がありました。

以上